

日本フェンシング協会学校訪問

(令和3年3月3日)

東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成と、フェンシング競技の普及・振興を目的に、「日本フェンシング協会学校訪問」が、津富浦小学校にて開催されました。コロナ禍で開催された今回は、ロンドン五輪銀メダリストであり、日本フェンシング協会会長でもある太田雄貴さんを講師としてお招きし、会場とリモートでつないで行いました。

対象は全学年計83名で、5・6年生が体育館に集まり、1～4年生は各教室から参加しました。

初めに、フェンシングに関するクイズが出題され、子供たちは元気に手を挙げ回答し、フェンシングへの理解を深めました。

その後のデモンストレーションでは、ロンドン五輪の実際の大会映像を見ながら、太田さん自身にその時の様子を解説してもらいました。一秒を争う息をのむような展開に、子供たちは集中して見入っていました。

そして最後に、それまでのクイズや動画視聴で学んだ知識をもとに、実践形式での練習を行いました。アルファベットフェンシングは、二人一組で向き合い、アルファベットで出来た木片をつまんで知恵の輪のように絡ませ、一方は外そうと、もう一方は外されまいとするゲームで、何度も攻守交替しながら、楽しんで練習しました。その後に行ったプラスチックフェンシングでは、フェンシングの構えや移動の仕方を教わり、「アレ」の合図で一斉に的を狙って攻撃の練習を行いました。

講演の開始時には、フェンシングをよく知らないという生徒もたくさんいましたが、競技への知識を深めることができ、非常に有意義な時間となりました。





